

第64期 決算のご報告

2 0 1 1 年 4 月 1 日 ~ 2 0 1 2 年 3 月 3 1 日



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

株主・投資家の皆様へ



おばた かずお
代表取締役社長 **小畑 一雄**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当社第64期（2012年3月期）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、1953年の創業以来、マルちゃんブランドのもと、「安全でおいしい商品」「確実なサービス」をお客様にお届けすることを心掛けてまいりました。

そのような中、1975年発売の生麺「焼そば3人前」、1978年発売の「赤いきつね」並びに1980年発売の「緑のたぬぎ」といった多数のロングセラー商品が生まれました。

2011年秋に発売した「マルちゃん正麺」は、麺本来の味わいを即席麺で実現したことでおお客様の支持を頂戴しており、今後期待できる商品のひとつとなっております。

また、国内だけでなく北米地域を中心とした海外でも幅広く事業を展開しており、生産・販売・物流体制の効率化や消費者のニーズにマッチした新商品の開発により、さらなる発展を目指す所存です。

当社は、スローガンである「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」に込めた思いの通り、従業員一人ひとりが主体となり、「安全・安心」への取り組みやより良い商品の安定供給等により、食品企業としての社会的使命を果たしてまいります。

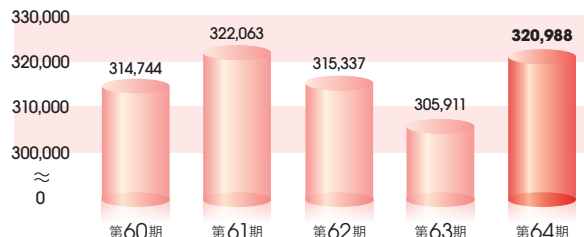
株主の皆様には、引き続き、一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2012年6月

連結決算ハイライト

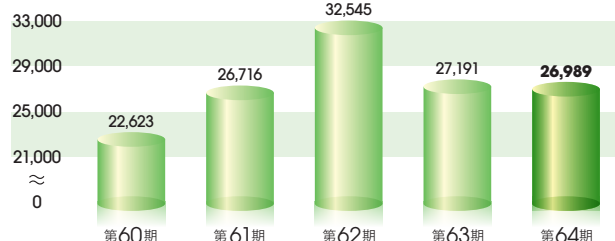
売上高の推移（百万円）

売上高 **320,988** 百万円



経常利益の推移（百万円）

経常利益 **26,989** 百万円





営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で生産活動は緩やかに回復基調にあるものの、欧州政府債務危機等による海外景気の下振れ等の影響が懸念され、国内経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並

びに積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当連結会計年度の業績は、売上高は 320,988 百万円（前年同期比 4.9%増）、営業利益は 25,514 百万円（前年同期比 1.1%減）、経常利益は 26,989 百万円（前年同期比 0.7%減）、当期純利益は 16,119 百万円（前年同期比 29.8%増）となりました。

次期の見通し

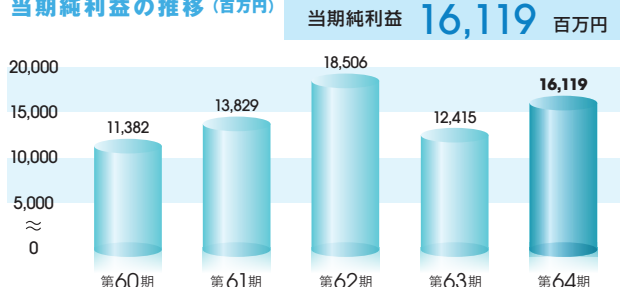
次期（2013 年 3 月期）の見通しにつきましては、各種の政策効果等を背景に景気の持ち直し傾向が期待されておりますが、欧州政府債務危機等による海外景気の下振れやデフレの影響等景気を下押しするリスクも存在しております。

当食品業界におきましては、個人消費の持ち直し傾向も見られるものの、消費者の生活防衛意識や低価格志向が続く中で、市場環境は厳しい状況にあります。また、食の安全・安心等企業の社会的責任がますます求められていくものと考えております。当社グループにおきましては、さらに地域

別・商品別の販売促進を強化した積極的な営業活動を実施いたします。また、費用面でもより厳しい販売競争に対応するため、物流の再構築・生産部門での徹底したコストの削減に注力していく所存であります。

以上により、通期の売上高は 330,000 百万円、営業利益は 27,000 百万円、経常利益は 28,000 百万円、当期純利益は 17,000 百万円を見込んでおります。なお、対米ドルの換算為替レートは 82.00 円で想定しております。

当期純利益の推移（百万円）



次期見込（2013 年 3 月期）

連結売上高 330,000 百万円

連結経常利益 28,000 百万円

連結当期純利益 17,000 百万円

セグメント情報

国内即席麺事業



▶ 売上高 **106,638** 百万円

国内即席麺事業は、カップ麺は「赤いきつねうどん」や「緑のためぎ天そば」、「麺づくり」、「昔ながらのソース焼そば」といった基幹ブランドに加え、大盛オープンブライス商品「ごつ盛り」が順調に推移しました。また袋麺は、2011年11月に新技術「生麺うまいまま製法」を採用した「マルちゃん正麺」を発売し、積極的なプロモーション及び販売活動を展開して、好調に推移しました。その結果、売上高は106,638百万円（前年同期比4.8%増）となりました。セグメント利益は、小麦粉、そば粉に代表される原材料価格の高騰や新規製造ラインの設備投資もあり、10,706百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

ん正麺」を発売し、積極的なプロモーション及び販売活動を展開して、好調に推移しました。その結果、売上高は106,638百万円（前年同期比4.8%増）となりました。セグメント利益は、小麦粉、そば粉に代表される原材料価格の高騰や新規製造ラインの設備投資もあり、10,706百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

低温食品事業



▶ 売上高 **63,372** 百万円

低温食品事業は、生麺は東日本大震災の発生後、内食化傾向が高まり若干の変化も見られましたが、引き続き厳しい環境にあり、市場の縮小傾向が続いております。主力の3食焼そば類においては、消費者キャンペーンやフレーバー展開を行い、前年を上回りました。また、3食生ラーメン類はリニューアルを実施した結果、好調に推移しましたが、一方で3食

玉うどん類、2食生ラーメン類が競合品との価格競争により苦戦を強いられ、前年並みとなりました。冷凍食品類は、冷凍麺及び冷凍野菜は順調に推移しましたが、東日本大震災による一部商品の終売等の影響を受けた冷凍調理品の売上減少を補えませんでした。その結果、売上高は63,372百万円（前年同期比0.0%減）となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰や販売促進費の増加により、3,607百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

加工食品事業



▶ 売上高 **17,235** 百万円

加工食品事業は、米飯は製造工場が東日本大震災で被災した影響で減収となりました。フリーズドライ製品は簡便・本物志向に対応し順調に

推移しました。調味料は新製品の寄与で堅調に推移しました。この結果、売上高は17,235百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は578百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

海外即席麺事業



▶ 売上高 **57,559** 百万円

海外即席麺事業は、第2四半期後半から第3四半期にかけて値上げを実施いたしましたが、大手量販店との協力体制による拡販等引き続き積極的な販売活動を行い、販売数量は大幅に増加いた

しました。その結果、売上高は57,559百万円（前年同期比14.7%増）となりました。セグメント利益は、前年からの世界的なコモディティ価格の上昇の影響により、主原材料、運賃等のコストが増加しましたが、値上げ及び拡販の効果により、8,286百万円（前年同期比11.3%増）となりました。



水産食品事業

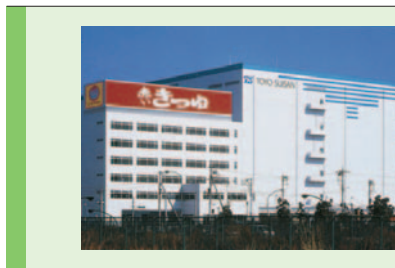


▶ 売上高 **32,555** 百万円

水産食品事業は、円高の進行や国内市況の低迷、また東日本大震災により甚大な被害を受けた子会社の生産再開が一部にとどまるなど非常に厳しい状況が続きました。そのような中、得意商品

の鮭鱒、魚卵、南方凍魚、マグロ等を中心に新規商品開発や販売を積極的に進めました。その結果、売上高は 32,555 百万円(前年同期比 2.4%減)、セグメント利益は 864 百万円(前年同期比 22.2%増)となりました。

冷蔵事業



▶ 売上高 **14,821** 百万円

冷蔵事業は、昨年からの積極的な営業活動により全国的に取扱い貨物が増加しました。東日本大震災の影響により東北地方の貨物が各地区に流出したことや、夏場の節電対策の対応により食品メーカーが備蓄在庫を増加させたため、在庫が高い水準で

安定し、保管料収入、出入庫料収入とともに前年実績を上回りました。また、当連結会計年度から埼玉東洋(株)、湘南東洋(株)及びスルガ東洋(株)を連結の範囲に含めたことにより、売上高は 14,821 百万円(前年同期比 15.4%増)、セグメント利益は 1,152 百万円(前年同期比 109.4%増)となりました。

その他事業

▶ 売上高 **28,783** 百万円

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は 28,783 百万円(前

年同期比 10.5%増)、セグメント利益は 1,460 百万円(前年同期比 21.4%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成比



| | | |
|------------|---------|-------------|
| 1. 国内即席麺事業 | 33.22 % | 106,638 百万円 |
| 2. 低温食品事業 | 19.74 % | 63,372 百万円 |
| 3. 加工食品事業 | 5.37 % | 17,235 百万円 |
| 4. 海外即席麺事業 | 17.93 % | 57,559 百万円 |
| 5. 水産食品事業 | 10.14 % | 32,555 百万円 |
| 6. 冷蔵事業 | 4.62 % | 14,821 百万円 |
| 7. その他事業 | 8.98 % | 28,783 百万円 |

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | | 当連結会計年度 2012.3.31 | 前連結会計年度 2011.3.31 |
|----------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | 流動資産 POINT01 | 134,196 | 118,724 |
| | 現金及び預金 | 43,207 | 34,648 |
| | 受取手形及び売掛金 | 48,746 | 39,785 |
| | 繰延税金資産 | 1,542 | 1,925 |
| | その他 | 41,208 | 42,886 |
| | 貸倒引当金 | △511 | △524 |
| | 固定資産 POINT02 | 117,218 | 113,808 |
| | 有形固定資産 | 97,581 | 95,499 |
| | 無形固定資産 | 2,051 | 1,727 |
| | 投資その他の資産 | 17,585 | 16,581 |
| 資産合計 | | 251,414 | 232,532 |
| 負債の部 | 流動負債 POINT03 | 46,865 | 41,995 |
| | 固定負債 POINT04 | 17,883 | 17,729 |
| | 負債合計 | 64,749 | 59,725 |
| 純資産の部 | 株主資本 | 191,408 | 178,143 |
| | 資本金 | 18,969 | 18,969 |
| | 資本剰余金 | 22,516 | 22,516 |
| | 利益剰余金 | 158,052 | 144,769 |
| | 自己株式 | △8,129 | △8,111 |
| | その他の包括利益累計額 | △14,895 | △15,018 |
| | その他有価証券評価差額金 | 322 | △432 |
| | 繰延ヘッジ損益 | 259 | 168 |
| | 為替換算調整勘定 | △15,478 | △14,755 |
| | 少数株主持分 | 10,152 | 9,682 |
| 純資産合計 POINT05 | | 186,665 | 172,807 |
| 負債純資産合計 | | 251,414 | 232,532 |

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31 | 前連結会計年度 2010.4.1～2011.3.31 |
|----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 売上高 | 320,988 | 305,911 |
| 売上原価 | 202,610 | 191,118 |
| 売上総利益 | 118,378 | 114,793 |
| 販売費及び一般管理費 | 92,863 | 88,982 |
| 営業利益 | 25,514 | 25,811 |
| 営業外収益 | 1,754 | 1,658 |
| 営業外費用 | 279 | 278 |
| 経常利益 | 26,989 | 27,191 |
| 特別利益 | 69 | 501 |
| 特別損失 | 629 | 5,965 |
| 税金等調整前当期純利益 | 26,429 | 21,727 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,921 | 9,147 |
| 法人税等調整額 | △134 | △484 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 16,642 | 13,064 |
| 少数株主利益 | 523 | 648 |
| 当期純利益 | 16,119 | 12,415 |

連結包括利益計算書(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31 | 前連結会計年度 2010.4.1～2011.3.31 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 16,642 | 13,064 |
| その他の包括利益 | 128 | △5,686 |
| 包括利益 | 16,770 | 7,378 |
| (内訳) 親会社株主に係る包括利益 | 16,241 | 6,737 |
| 少数株主に係る包括利益 | 529 | 640 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31 | 前連結会計年度 2010.4.1～2011.3.31 |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー POINT06 | 19,510 | 28,120 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー POINT07 | △31,089 | △10,268 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー POINT08 | △4,691 | △6,188 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △319 | △2,256 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △16,589 | 9,407 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 55,952 | 46,545 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 39 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 39,402 | 55,952 |



連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|------------------|---------|----------|-------------------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 2011年3月31日残高 | 18,969 | 22,516 | 144,769 | △8,111 | 178,143 | △432 | 168 | △14,755 | △15,018 | 9,682 | 172,807 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,086 | | △4,086 | | | | | | △4,086 |
| 当期純利益 | | | 16,119 | | 16,119 | | | | | | 16,119 |
| 自己株式の取得 | | | | △17 | △17 | | | | | | △17 |
| 連結範囲の変動 | | | 1,251 | | 1,251 | | | | | | 1,251 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額） | | | | | | 755 | 90 | △723 | 123 | 469 | 592 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | － | － | 13,283 | △17 | 13,265 | 755 | 90 | △723 | 123 | 469 | 13,858 |
| 2012年3月31日残高 | 18,969 | 22,516 | 158,052 | △8,129 | 191,408 | 322 | 259 | △15,478 | △14,895 | 10,152 | 186,665 |

連結財務諸表 POINT

POINT

01 流動資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ 15,471 百万円(13.0%)増加し、134,196 百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

POINT

02 固定資産

固定資産は、前連結会計年度に比べ 3,410 百万円(3.0%)増加し、117,218 百万円となりました。これは主に、建物及び構築物、建設仮勘定が増加したことによるものであります。

POINT

03 流動負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ 4,869 百万円(11.6%)増加し、46,865 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払費用、未払法人税等が増加したことによるものであります。

POINT

04 固定負債

固定負債は、前連結会計年度に比べ 154 百万円(0.9%)増加し、17,883 百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が増加したことによるものであります。

POINT

05 純資産

純資産は、前連結会計年度に比べ 13,858 百万円(8.0%)増加し、186,665 百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

POINT

06 営業活動による キャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ 8,609 百万円減少し、19,510 百万円となりました。これは主に、売上債権の増加、たな卸資産の増加によるものであります。

POINT

07 投資活動による キャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 20,820 百万円増加し、31,089 百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の増加によるものであります。

POINT

08 財務活動による キャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 1,496 百万円減少し、4,691 百万円となりました。これは主に、短期借入金返済による支出が減少したことによるものであります。

個別財務諸表



個別貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目 | | 当事業年度 2012.3.31 | 前事業年度 2011.3.31 |
|---------|--------------|--------------------|--------------------|
| 資産の部 | 流動資産 | 86,411 | 82,515 |
| | 固定資産 | 103,065 | 98,943 |
| | 有形固定資産 | 72,727 | 70,209 |
| | 無形固定資産 | 1,996 | 1,583 |
| | 投資その他の資産 | 28,341 | 27,151 |
| 資産合計 | | 189,477 | 181,458 |
| 負債の部 | 流動負債 | 68,133 | 68,074 |
| | 固定負債 | 13,087 | 12,576 |
| | 負債合計 | 81,220 | 80,650 |
| 純資産の部 | 株主資本 | 108,024 | 101,306 |
| | 資本金 | 18,969 | 18,969 |
| | 資本剰余金 | 22,516 | 22,516 |
| | 利益剰余金 | 76,431 | 69,696 |
| | 自己株式 | △9,892 | △9,875 |
| | 評価・換算差額等 | 232 | △498 |
| | その他有価証券評価差額金 | 232 | △500 |
| | 繰延ヘッジ損益 | 0 | 1 |
| 純資産合計 | | 108,256 | 100,808 |
| 負債純資産合計 | | 189,477 | 181,458 |

個別損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目 | 当事業年度 2011.4.1～2012.3.31 | 前事業年度 2010.4.1～2011.3.31 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 | 220,667 | 214,861 |
| 売上原価 | 130,495 | 125,741 |
| 売上総利益 | 90,172 | 89,119 |
| 販売費及び一般管理費 | 78,203 | 76,162 |
| 営業利益 | 11,968 | 12,957 |
| 営業外収益 | 4,101 | 2,412 |
| 営業外費用 | 462 | 530 |
| 経常利益 | 15,607 | 14,838 |
| 特別利益 | 448 | 331 |
| 特別損失 | 419 | 5,128 |
| 税引前当期純利益 | 15,637 | 10,041 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,335 | 4,516 |
| 法人税等調整額 | △521 | △329 |
| 当期純利益 | 10,823 | 5,853 |

個別株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | | | | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | | | 純 資 産 合 計 | |
|-----------------------------|---------|-----------|--------------|-------------|-------|-----------------|---------------|--------|-------------|--------|------------|------------------|-----------------|----------------|--------------|-----------------|
| | 資本金 | 資 本 剰 余 金 | | | 利益準備金 | 利 益 剰 余 金 | | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延 ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| | | 資本準備金 | その他 資本剰余金 | 資本 剰余金合計 | | そ の 他 利 益 剰 余 金 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 特別償却 準備金 | 固定資産 圧縮積立金 | 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | | | | 利益 剰余金 合計 |
| 2011年3月31日残高 | 18,969 | 20,155 | 2,360 | 22,516 | 2,593 | 898 | 5,935 | 42,000 | 18,269 | 69,696 | △9,875 | 101,306 | △500 | 1 | △498 | 100,808 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別償却準備金の積立 | | | | | | 86 | | | △86 | | | | | | | |
| 特別償却準備金の取崩 | | | | | | △145 | | | 145 | | | | | | | |
| 固定資産圧縮積立金の積立 | | | | | | | 479 | | △479 | | | | | | | |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | | | | | | △130 | | 130 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | | △4,088 | △4,088 | | △4,088 | | | | △4,088 |
| 当期純利益 | | | | | | | | | 10,823 | 10,823 | | 10,823 | | | | 10,823 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | | | △17 | △17 | | | | △17 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額） | | | | | | | | | | | | | 732 | △1 | 731 | 73 |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | - | - | △59 | 348 | - | 6,445 | 6,734 | △17 | 6,717 | 732 | △1 | 731 | 7,448 |
| 2012年3月31日残高 | 18,969 | 20,155 | 2,360 | 22,516 | 2,593 | 839 | 6,283 | 42,000 | 24,714 | 76,431 | △9,892 | 108,024 | 232 | 0 | 232 | 108,256 |



おかげさまで 50周年

マルちゃんマークは即席麺事業への本格参入にあたり、お子様からお年寄りまで幅広く愛されるブランドを目指して1962年に誕生しました。50周年を迎えられたことに感謝を込めて変遷を振り返ります。

SINCE 1962



初代マルちゃん

それまでの「マルト」マークから「マルトちゃん」→「マルちゃん」となり、名前にふさわしいハッピースマイルマークが誕生しました。



SINCE 1970



二代目マルちゃん

初代に比べ表情が現代的になり、笑顔のデザインとブランドネームを赤地のフォーマットの中に一体で表す現在の形になりました。



SINCE 1986



三代目マルちゃん

親しみやすさや美味しさの印象がより強調されるよう、目や口元の表情が修正されました。色使いも、温かさや、楽しさ、幸福のイメージが広がる赤と黄色になりました。

1956年 マルちゃんの前身誕生



1956年に「横須賀を飛び越えて東洋一の企業へ」との願いを込め「横須賀水産」から「東洋水産」と社名を変更しました。当時は丸の中に社名の頭文字「と」を組み合わせた「マルト」マークを使用していました。

1980年 海外のマルちゃん誕生



1972年にMARUCHAN, INCが設立され、今年で40周年を迎えます。日本からの即席麺の輸出版売から始まり、1977年ロサンゼルス近郊に工場を設立し、現地製造開始後、1980年からMaruchanマークが使われ始めました。

2009年 企業スローガン誕生



Smiles for All.
すべては、笑顔のために。

「笑顔をお届けしたい」というマルちゃんマークにこめられた願いが、企業スローガンとして明文化されました。“私達が行うすべてのことはお客様の笑顔のためである”という意味を表しています。



会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数

2,027人

事業所数

工場8、冷蔵庫14、

支店・営業所28

関係会社

32社(海外8社含む)

支店・営業所

- ◆北海道支店 (札幌営業所、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (名古屋営業所、金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (福岡営業所、沖縄営業所)

冷蔵庫

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| ◆札幌冷蔵庫 | ◆石狩冷蔵庫 | ◆大井埠頭冷蔵庫 | ◆平和島冷蔵庫 |
| ◆城南島冷蔵庫 | ◆東扇島第一冷蔵庫 | ◆東扇島第二冷蔵庫 | ◆東扇島第三冷蔵庫 |
| ◆名古屋冷蔵庫 | ◆中部物流センター | ◆神戸冷蔵庫 | ◆舞洲冷蔵庫 |
| ◆福岡冷蔵庫 | ◆佐賀冷蔵庫 | | |

役員 (2012年6月28日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 堤 殷 |
| 代表取締役社長 | 小畑 一雄 |
| 専務取締役 | 吉野 廣治 |
| 常務取締役 | 手嶋 専市 |
| 常務取締役 | 近藤 英次 |
| 常務取締役 | 今村 将也 |
| 取締役 | 三浪 博行 |
| 取締役 | 菅原 謙二 |
| 取締役 | 下井 敦美 |
| 取締役 | 及川 雅晴 |
| 取締役 | 藤谷 忠 |
| 取締役 | 吉村 功 |
| 取締役 | 山本 和夫 |
| 取締役 | 市島 久夫 |
| 取締役 | 飯塚 修 |
| 取締役 | 住本 憲隆 |
| 取締役 | 沖 斉 |
| 取締役 | 豊田 勉 |
| 常勤監査役 | 山下 透 |
| 常勤監査役 | 南 守之 |
| 社外監査役 | 高良 明 |
| 社外監査役 | 森 勇 |

工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆東洋冷凍株式会社 ◆サンリク東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆三幸養魚株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豐調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社※ ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 ◆株式会社シマヤ ※持分法適用関連会社



株式の状況

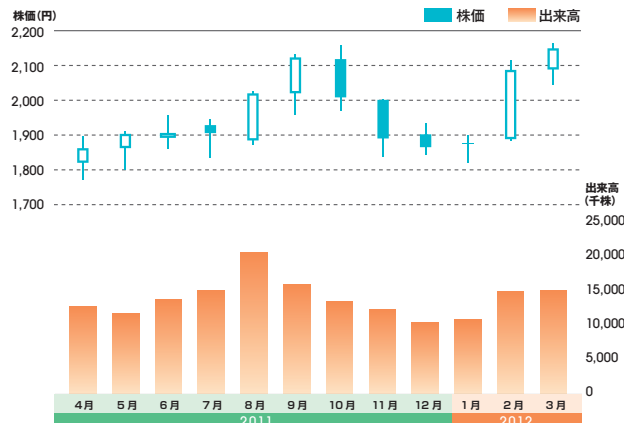
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
発行済株式の総数…………… 110,881,044 株
株主数…………… 5,980 名

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|---|---------|---------|
| ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカンクライアント | 4,807 | 4.70 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,522 | 4.42 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,932 | 3.84 |
| 株式会社三井住友銀行 | 2,935 | 2.87 |
| ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リユーエスタックスエグゼンブテッドベンション ファンズ | 2,903 | 2.84 |
| メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ベンション | 2,264 | 2.21 |
| マルちゃん持株会 | 2,106 | 2.06 |
| 一般財団法人 東和食品研究振興会 | 2,068 | 2.02 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 2,014 | 1.97 |
| ガバメント オブ シンガポール インベストメント コーポレーションビー・リミテッド | 1,983 | 1.94 |

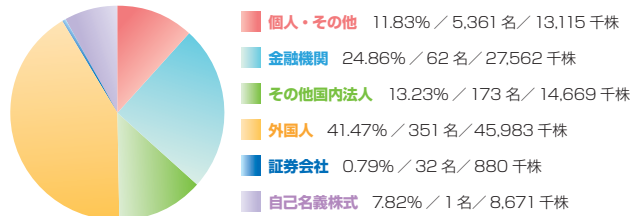
(注) 出資比率は自己株式(8,671,040 株)を控除して計算しております。
(注) 出資比率は小数点以下第 2 位未満を四捨五入して計算しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000 株以上ご所有の株主様に対し 3,000 円相当の自社製品を、3,000 株以上ご所有の株主様に対し 5,000 円相当の自社製品を、それぞれ 6 月に進呈させていただきました。

●株主メモ

| | |
|-------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 基準日 | 期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/ |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。 |
| 単元株式数 | 1,000 株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(市場第一部) |

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

安全・安心のために

設計規格通りの安定した品質（風味・色・形状など）の商品をお届けするため、原材料入荷から製品出荷までの各工程において厳密な管理体制をとっており、当社自主検査管理で定めた合否判定基準に基づき安全性を確認し、出荷しています。

・原材料の調達

当社グループでは、原材料の安全性や食品衛生法等の関連法規に適合しているかを最も重要視し、選定を行っています。安全で安心な原材料入手のため、まず選定段階から原材料と原材料メーカーの事前調査および審査を行い、その後品質規格書を取り交わします。規格書内では、安全性に関する様々な厳しい自主基準を設けて、原材料を管理しています。

・工場での取り組み



X線検査機

当社グループ製造工場では、最終製品の段階で選って異物の混入が発生することのないように、異物の混入を防止するよう設計されたライン上で、X線検査機・金属探知機設置などの対策を実施しています。